

# ウクライナ問題が 日本の生活に与える影響 —SDGsの観点から—

令和4年  
11月29日(火)  
13時～16時15分

場所：三島駅北口校舎1階山田顕義ホール  
静岡県三島市文教町1-9-18  
(JR三島駅北口から徒歩1分)

※オンラインにて同シンポジウムを令和4年12月8日(木)～  
12月22日(木)まで視聴可能(視聴には事前申込が必要です)

## スケジュール

### 【第I部】

(コーディネーター) 日本大学短期大学部ビジネス教養学科 准教授 川戸 秀昭

#### 【基調講演】

「ウクライナ問題の歴史的背景」 元ウクライナ大使 黒川 祐次 氏

#### 【研究発表】

① 「ロシアのウクライナ侵攻がエネルギー・食糧市場に与えた直接的・間接的影響」

日本大学国際関係学部国際総合政策学科 准教授 小田 正規

② 「ポピュラーカルチャー実践の公共性：ファン実践によるギャップの補填と攪乱」

日本大学国際関係学部国際教養学科 助教 陳 怡禎

③ 「ウクライナからの「避難民」の現況と日本の「難民」問題」

日本大学国際関係学部国際総合政策学科 教授 小野健太郎

ウクライナ出身の原アンナさん、母ネジェリコ・マリーナさんが避難の体験をお話しします。

### 【第II部】

#### 【パネルディスカッション】

「SDGsの観点から見るウクライナ問題—コロナと戦争後を見据えて—」

ファシリテーター 日本大学国際関係学部国際総合政策学科 助教 笠原 孝太  
黒川祐次氏・小野健太郎・小田 正規・陳 怡禎

**参加無料**

事前申込制(先着順)

主催：日本大学国際関係学部生活科学研究所

お申し込み方法等詳細についてはホームページ又は下記までお問い合わせ下さい。

日本大学国際関係学部研究事務課 〒411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145

電話：055-980-0808 FAX：055-980-0879

URL：https://www.ir.nihon-u.ac.jp/research/laboratory/ Eメール：ir-kouza3@nihon-u.ac.jp